

インタビュー

株式会社マルトー



プロフィール

株式会社マルトー

代表取締役社長 菅野 善正 様

設立：1972 年 8 月

所在地：〒112-0003

東京都文京区春日 2-4-1

電話：03-6801-0727

URL：www.maruto.com

E-mail：maruto@maruto.com

Q1. 会社の概要についてお聞かせ下さい。

弊社は理学・工学及び歯医学等の分野、並びに R&D・品質管理部門などで必要とされる、光学顕微鏡観察や SEM、TEM での観察試料や強度試験片の作製などに使用する、切断機・研磨機・成形加工機的设计開発・製造・販売、またそれらに使用される研磨剤や砥石などの消耗品の販売を行っています。

Q2. 業務内容についてお聞かせ下さい。

「切る・削る・磨く 技術で未来のものづくりに奉仕する」をモットーに機器消耗品の販売だけではなく

・実験室

基本無料開放にてテスト加工を行い砥石・研磨剤の選定や加工の条件出しなどのサポート

・試作室

小ロット品、テストピース作製などの有料委託加工

・開発室

専用の治具から専用の機器の設計製造

研究者の加工に関する困りごとのサポートを行っています。

Q3. 社名の由来をお聞かせください。

岩石・コンクリート・地質などの試験機メーカーである株式会社丸東製作所の研究試料作製用機器開発部門（主に切断機・研磨機）が分離独立。

分離元の社名の一部を取り株式会社マルトーとしました。

研究試料を切る・削る・磨くそして測る技術で奉仕する



会社のロゴならびに所在地概略。

Q4. 学会との係わりについてお聞かせ下さい。

日本材料科学会様主催で切断・研磨に関する基礎講習を年2回開催しております。講習内容については光学顕微鏡、SEM や EPMA など材料評価を行う場合の前処理工程で必要となる試料の切断・鏡面研磨に関する基礎講義・機械を用いた実習となります。講習を受けて頂くことで、この分野に関するお悩みを抱えるご担当者様の一助になるお手伝いをしております。

Q5. 現在危惧していることや今後の展望についてお聞かせ下さい。

「十分に発達した科学技術は魔法と区別がつかない」

作家 アーサー・C・クラークが提唱した3法則の最も有名なものですが、現在の世界はまさに彼の言った言葉そのものになっているのではないのでしょうか。

PC, 家電, 携帯端末などのハードウェアは驚くべき速度で進歩を遂げ、また AI などのソフトウェアもそれと同時に進化し、文章だけで本物と見間違えるような動画を作製したりキーワードだけで論文のような文章を作成したりと、原理がわからずとも指先一つでそれらを操作し活用出来てしまいます。

今日を通してこの文章も「AI で作成されたもの」と言われても誰も真偽がわからないのではないのでしょうか？

このような実際に手にでき、活用されるものに注目が集まり研究開発で競い合う状況ですが、しかしながら、これらの便利なものも材料・素材の開発や研究、加工技術の進歩・発達がなければ実現することはなかったでしょう。

素材の開発・研究の一助になるようコンパクトで使いやすい加工機の開発販売を目指したいと考えております。

Q6. 会社の一押しについてお聞かせ下さい。

ラボ用で様々な用途に対応出来る加工機としてのラインナップを拡充しております。

新製品として

- ・シングルワイヤーソー MW-400

軟質材から硬質材、脆い材質など様々な材質の切断

湿式・乾式切断どちらも可能

また、実験室を無料開放しておりますので加工にお困りの際にはお気軽にお問い合わせください。



切断機 マイクロカッターレプタム MC-250.



シングルワイヤーソー MW-400.



研磨機 ドクターラップ ML-182.

Q7. 学会に期待することについてお聞かせ下さい。

科学技術の進歩・発展には材料・素材の開発や研究が必要不可欠であります。

材料・素材の開発・研究の重要性を子供たちなどに解りやすく広くアピールするなど、材料・素材の開発・研究に関わる人の裾野をぜひ広げてほしいと願っております。

Q8. 社会に対してのアピールポイントをお聞かせ下さい。

「切る」・「削る」・「磨く」技術で、研究者と「共に作り・共に走る」(Make & Run Together : MARUTO) をモットーに決して目立つことはないですが、より良い科学技術開発の下支えになる「ものづくり」をサポート出来れば幸いです

お忙しい中インタビューに応じて頂きました。期して感謝の意を表します。

(日本材料科学会 会長 本橋光也)